

労働者がより幸せとなるために求められる市の施策として、以下のような回答があった。

【賃金について】

- ・賃金引上げを図る施策を設ける。
- ・従業員の給与増加に取り組む企業に対する補助制度を設ける。

【労働環境、働き方改革について】

- ・労働環境の改善や就業規則の整備を小規模企業だけで行うことが難しいため、助成金等で支援をする。
- ・中小企業の景気回復の施策に取り組むことが従業員の労働環境改善につながる。
- ・他社の従業員同士での異業種間交流の場を設けることで、他社から学び自分たちの組織を改革するきっかけをつくる。
- ・市が一丸となってノー残業デーを導入する。
- ・8時間労働や休暇取得推進等に取り組むと売上が減少してしまうため、生産性の向上も意識したうえで働き方改革を進めるべきである。

【人材確保、人材流出対策について】

- ・若者が安心して暮らせる街づくりに取り組んで、若者の定住を促進する。
- ・特に高卒者の市外転出に対する施策が必要である。
- ・将来的に自動車が無くても生活していけるスモールタウンの構想や冬でも役立つ交通網の整備に取り組むことで、人口の市外流出を防ぐ。
- ・外向きだけではなく内向きのブランド力向上を図ることで、市民が高山市で働くことの充実感ややりがいを感じることができるようにする。
- ・都市部からの移住促進の取り組みを強化する。
- ・参画企業を募り、高山市全体でUターン就職者を誘致する。
- ・観光産業における採用活動は旅客の増減に合わせて行うため、要員計画を立てることが難しく労働力の確保がままならない。急激な観光需要増加への対応が困難な現況に対して、より踏み込んだ対策が必要である。
- ・大手就職情報発信ウェブサイトを利用すると高額な費用がかかるため、低コストで採用活動を行うことができるような施策があるとよい。
- ・高齢者が健康的に長く働き、生きがいを得ることができるような支援策があるとよい。